

## 農山漁村地域整備計画の事後評価

1. 計画名称：北海道農業農村整備計画
2. 計画策定主体：北海道
3. 計画の期間：平成22年度～平成26年度（5年間）

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	計画期間内の地区（対象地区416地区、関連地区474地区）は予定どおり実施しました。 平成27年以降に継続する地区については、次期計画（平成27年度～平成31年度）で実施予定です。
②事業効果の発現状況	計画期間内に事業完了した地区については、事業効果が発現しました。 平成27年以降に継続する地区については、次期計画（平成27年度～平成31年度）や他事業により、早期に効果発現を目指します。
③成果目標の目標値の実現状況	1 農地利用100%の確保 【目標値】農地利用率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	2 利用集積率の増大 【目標値】担い手農地利用集積率を対策期間後に89%とする。 【実現状況】88.1%
	3 面的集積率の増大 【目標値】担い手農地面的集積率を対策期間後に84%とする。 【実現状況】79.8%
	4 田畑輪換可能ほ場の増大 【目標値】水田の田畑輪換可能率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	5 湛水及び湿害解消農地の増大 【目標値】湿害解消農地率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	6 通作条件の確保 【目標値】通作条件確保率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	7 農地被害の未然防止 【目標値】被害解消率（ストマネ）を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	8 自然災害の未然防止 【目標値】被害解消率（ため池等）を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	9 海岸保全防護の徹底 【目標値】海岸防護率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	10 農業集落排水施設の機能強化 【目標値】集落排水機能強化率を対策期間内に14%程度とする。 【実現状況】19.2%
	11 営農水の保全・確保 【目標値】営農水保全・確保率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
	12 魚道設置などによる環境への配慮 【目標値】移動確保率を対策期間後に100%とする。 【実現状況】100%
④今後の方針	今後とも次期計画（平成27年度～平成31年度）により、多様な農業を育み、環境と調和した生産性の高い持続的な農業生産に資する基盤づくりを図ります。